

青年海外協力隊「現職教員特別参加制度」派遣教員レポート（平成25年2月分）

氏名：田村陽子（広島県立広島北特別支援学校）

現地勤務先：キト市役所教育課

○平成24年11月～平成25年1月の出来事

平成25年2月 第7号

Gracias!（スペイン語でありがとう!）

みなさん、お元気ですか？今年もよろしくお祈りします。

エクアドルも今は冬です。しかし、今年は例年のように雨が降らず、天気のよい日が続いており、夏のような感じですが、あまりにも雨が降らないので、作物への影響がかなり心配されています。

今回は、こちらでのクリスマス、年末年始の行事を少し紹介したいと思います。



「ノベナ」クリスマスの9日前から始まる、グループごとに歌や劇などを発表し合う行事です。今年は、地域の教会とキト市役所で行われたノベナに参加しました。週に何度か集まって練習をし、衣装を考え、ちょっとしたプレゼントを用意します。



「アーニョビエホ」古着に新聞紙などをつめて、人形を作り、12月31日の夜に燃やします。その上を、3回跳ぶとよいことがあるといわれています。アーニョは、スペイン語で「年」ビエホは「古い」を意味しますので、古い年を燃やすとなるのでしょうか。アーニョビエホを燃やす習慣は、南米でもエクアドルだけだといわれています。

日本とは、また違ったクリスマス、年越しです。

今回は、11月から1月の活動を報告します。

<パンフレット作り>

11月から特別支援教育にかんするパンフレット作りを始めました。これまで研修会でやってきたことや、質問があった内容を盛り込んでいます。

3月に帰国するため、2月の完成を目指していますが、まだまだ問題は山積みです……。



<体験型の研修会に>

前回の通信でもお伝えしましたが、9月から主要校を順番に回って、体験型の研修会を開いています。手探りで始めた体験型の研修会ですので、自分自身、もっと勉強したいなあと思っていました。そんな中、ちょうど1月に、教育心理士の方々と一緒に体験型の研修会を受ける機会を得ましたので、そこで学んだことを少し紹介したいと思います。

～相手のことを知る方法～



グループに分かれ、あらかじめ用意された質問を、それぞれ違う人に聞いていきます。

例えば、

- ・〇〇さんの最大の目標達成は・・・
- ・〇〇さんの夢は・・・
- ・〇〇さんが一番恐れているものは・・・
- ・〇〇さんが一番好きな食べ物は・・・

〇〇の部分に、質問をした相手の名前を入れ、
・・・の部分に解答を入れます。



めがねを一つ選びます。
めがねには、色々な人の特徴と、話をする内容が書いてあり、めがねをかけた人は、その人になりきって話しをします。

想像性がとても要求される活動でした。



2重円になり、最初は外側に座っている人が、あるお題について話をします。内側に座っている人は、ひたすら聞き役に回ります。

お題は：どんな時に、さびしさを感じるか。
どんな時に、喜びを感じるか。
とても悲しいときに、どうするか。
とても嬉しいときに、どうするか。など

どのように聞くと、相手が話しやすいのか、言葉だけではなく、聞く姿勢の大切さを痛感しました。

最終号は、来月の予定です。楽しみにしててくださいね。Hasta luego! (それでは、また!)